

13:40~14:45

この内、14:30~14:45
の15分間は質疑応答です。

参加者からの質問や意見をQ&Aで受け付け、
お答えいたします。

趣旨説明 (渡辺 美代子)

- ・未来は筋力ではなく脳力がこれまで以上に重要な役割を果たすはず。
- ・しかし、能力中心の情報分野でも男性中心の研究開発が進められていることは、現在の世界の課題。

基調講演「自然科学・工学におけるジェンダー・イノベーション」 (Prof. Londa Schiebinger)

- ・これまで、日本ではジェンダー平等(男女共同参画)に向けて以下の戦略的アプローチがとられてきている。
とくにSTEM分野における「女性数の確保と裾野の拡大」、「制度の整備」、女性リーダーの増加
- ・最近、「知識の再構築」(研究に性差分析を適用するGIにより、科学技術の質の向上を図る。)が欧米を中心に拡大。
- ・GIは新たな展望を与え、新たな疑問を提起し、研究の新領域を開く。

15:00~16:30

講演1 相田 美砂子

データから見える日本の姿とその未来

講演2 森永 康子

ジェンダーバイアスを生む心のしくみ

講演3 平川 正人

ICTが紡ぎ出すダイバーシティ推進の未来像

講演4 石澤 有紀

薬物有害事象の発現リスクにおける性差分析

講演5 片岡 仁美

性差医療の現状と今後の展望

講演6 竹内 都美子

「自然体」- 人間中心を追求したMX-30開発

- ・日本の現状を、まずは、認識。
- ・どうして、そうになっている？
- ・ICTで、どこに向かう？
- ・性差分析の実例：薬
- ・性差分析の実例：医療
- ・人間中心の開発！

・参加者からの
質問や意見を
Q&Aで受け
付けます。

16:40~17:40

パネルディスカッション

～「他人事」ではなく「自分事」に～

モデレータ：堀 利栄

追加コメント

- 白川 俊之 ・子どもの教育への親の意識
- 今村 維克 ・大学における取組
- 高山 弘太郎 ・ICTが農業を変えている

パネリスト:

渡辺／相田／森永／平川／石澤／片岡／
竹内／白川／今村／高山

- ・科学的に違いを認識することによって、さらに研究は進展し、社会は発展する。
- ・若い世代が、その中に積極的に関わる意識をもつようにすることが重要！